

病院再編統合にかかる事業計画書

作成日：令和4年12月6日

三原市医師会病院
山田記念病院

目次

1.本件の概要	3 - 4
2.活用する補助金	4
3.二病院の基本情報	5
4.新病院の基本方針	6
5.統合前後病院の病床数(病床機能内訳)、 入院需要の比較、医療介護提供体制	7
6.廃止病院における既存債務の処理方法	7
7.統合完了予定年月日	8
事業計画合意書	

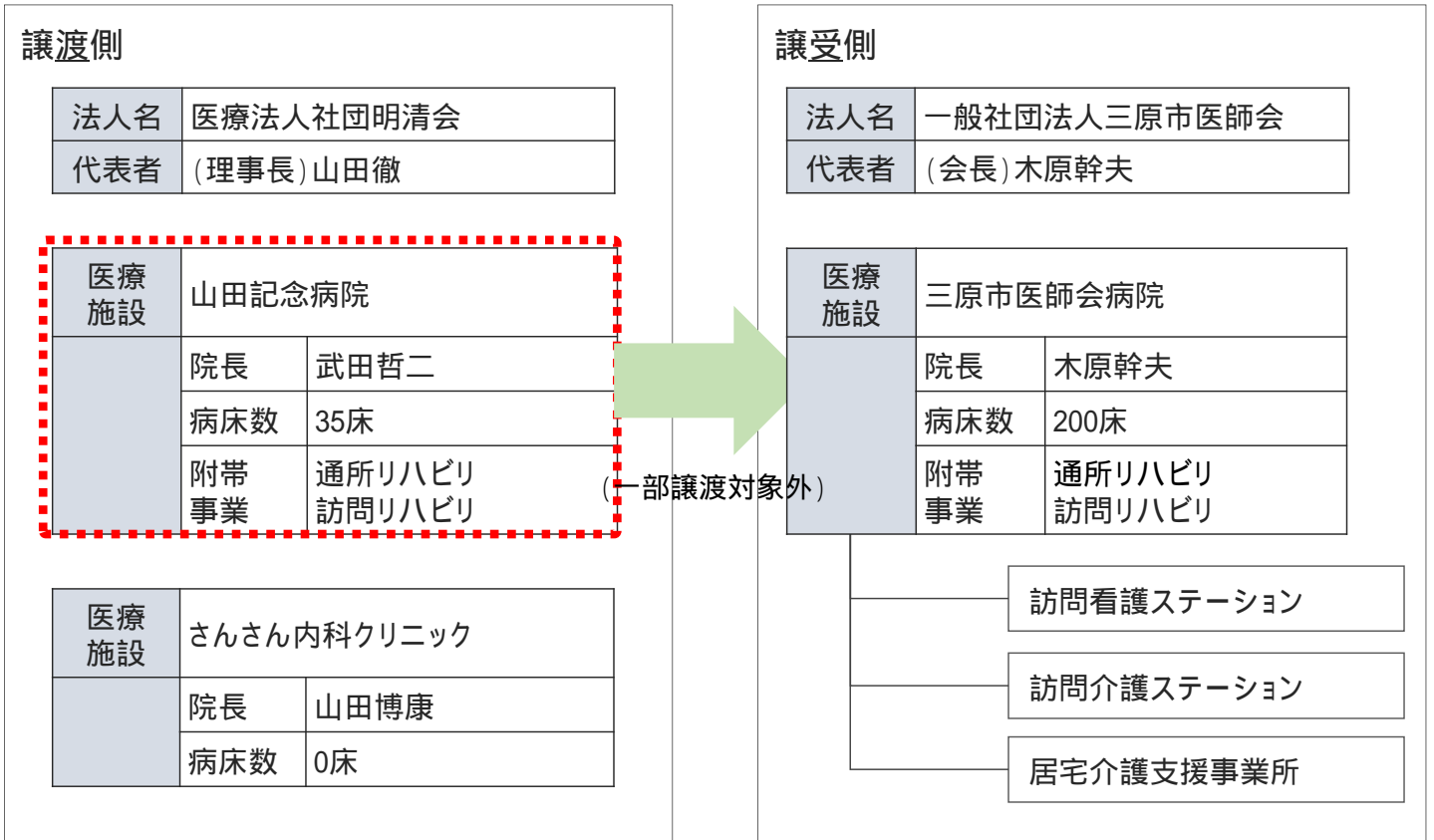
1.本件の概要

(1)本件の概要等

このたび、医療法人社団明清会は運営する山田記念病院(以下「譲渡病院」という。)の事業を一般社団法人三原市医師会へ継承(以下「事業譲渡」という。)し、三原市医師会病院(以下「譲受病院」という)と統合することを予定しております。

事業譲渡にあたり、譲渡病院の運営に必要な医療機器をはじめとする資産、契約上の地位・権利義務(診療契約等を含む)について継承することを予定しています。

また、事業譲渡にあたっては、譲受病院(病床数:200床)と譲渡病院(同:35床)を統合し、35床ダウンサイジング後に200床の病院として診療機能を一部再編し運営することを予定しております。



(2) 本件の経緯等

譲渡病院は、三原市域における唯一の脳神経疾患専門病院として、救急対応等の急性期機能を発揮して参りました。そういった中、多発外傷に対する対応や今後の医療需要の減少、また、今後の人材の確保について、単院で継続することに対する課題を抱えておりました。

譲渡先は地理的に近く、統合によって患者・職員の負担が少ないこと、また、内科・外科があり、脳神経外科を引き継ぐことにより、多発外傷の対応が可能となる譲受病院と検討することに至った。

譲受病院としては、譲渡病院が地域において主に次の2つの重要な役割を担っていると考えており、その機能の維持を企図して本件について検討することに至ったものです

- ・神経系疾患領域（三原市内8病院におけるMDC01件数　：シエ755.9%　順位1位）
- ・救急対応　（三原市内8病院における救急車受入件数：シエ111.3%　順位5位）

2.活用する補助金

補助金名	対象病院
病床機能再編支援給付金	
単独支援給付金	山田記念病院
統合支援給付金	三原市医師会病院・山田記念病院
複数の医療機関間の連携による病床再編事業	
病床再編に伴う施設整備・設備整備	三原市医師会病院
病床再編に伴い不要となった建物や医療機器の処分等	山田記念病院
医療機関の事業縮小に係る事業	
職員の早期退職に要する経費	山田記念病院

3.二病院の基本情報

	山田記念病院	三原市医師会病院
開設年月	1992年11月	1982年12月
診療科目	内科、 <u>呼吸器内科</u> 、 <u>循環器内科</u> 、 <u>消化器内科</u> 、 <u>糖尿病内科</u> 、 <u>脳神経内科</u> 、 <u>脳神経外科</u> 、リハビリテーション科 下線は重複する診療科	内科、 <u>呼吸器内科</u> 、 <u>循環器内科</u> 、 <u>糖尿病内科</u> 、 <u>脳神経内科</u> 、外科、呼吸器外科、乳腺科、肛門科、整形外科、泌尿器科、血液浄化療法科
病床数	35床	200床
急性期	35床	102床
回復期	—	48床
慢性期	—	50床
入院患者数	10,216人(2021年度)	50,887人(2021年度)
外来患者数	19,802人(2021年度)	38,809人(2021年度)
救急車受入件数	323件	324件
職員数	81人	270人



出所: 山田記念病院、三原医師会病院の院内データをもとに作成
 広島県「令和3年度病床機能報告」
 広島県「救急医療NETHIROSHIMA」

4.新病院の基本方針

三原市域において広島県地域医療構想の基本理念の実現に寄与すべく、以下の基本方針をかかげるもの

地域における医療提供体制の強化

三原市における脳血管疾患患者への対応について、山田記念病院の依存度が高い状況にある中、これまでの三原市医師会病院の診療機能に加え、山田記念病院が担っていた脳血管疾患への対応を強化することにより地域の医療ニーズに応える

統合にあたっては、持続可能性のある医療提供体制の構築を企図し、広島県地域医療構想に則り医療資源の効率化を目的とした急性期病床の再編を実施するもの

将来的な常勤医の高齢化と今後の「医師の働き方改革」への対応の観点から、当地における医療資源の集約が不可避の状況にある中で地域内での統合を目指すもの

地域連携機能の強化

地域のかかりつけ医を支援する「地域医療支援病院」として、このたびの新たに加わる脳血管疾患機能を発揮し、地域の会員医療機関との連携を一層強化させる

救急体制の強化

これまで小規模病院に依存していた三原市域における脳血管疾患の救急医療のニーズに応えるべく、三原市医師会病院にて救急医療体制の強化を目指す

5.統合前後病院の病床数(病床機能内訳)、入院需要の比較、医療介護提供体制

(1) 病床数、入院需要

		統合前		統合後	
				新病院	削減病床数
病床数		200床	35床	200床	35床
	急性期	102床	35床	102床	35床
	回復期	48床	-	48床	-
	慢性期	50床	-	50床	-
入院実績					病床稼働率
	2020年度実績	144.6人	27.6人	172.2人	86.1%
	2021年度実績	139.4人	28.0人	167.4人	83.7%
	急性期	70.5人	27.6人	98.1人	96.2%
	2021年度実績	69.8人	28.0人	98.7人	95.9%

出所：山田記念病院、三原医師会病院の院内データをもとに作成

6.廃止病院における既存債務の処理方法

開設者である医療法人社団明清会の協力のもと、適切に既存債務を処理することとする。

7.統合完了予定年月日

山田記念病院の機能移転に伴い、令和5年1月から新病院に向けた改修工事(脳神経外科診察室の新設、救急外来機能の拡充等)に着手し、令和5年4月1日に新病院を開院する。

統合完了予定年月日	令和5年4月1日
-----------	----------

事業計画合意書

本事業計画について、令和 年 月 日に開催した地域医療調整会議および令和 年 月 日に開催した医療審議会保健医療計画部会にて諮り、統合関連病院等間で合意したことをここに記す。

令和 年 月 日

代表病院名 : 三原市医師会病院

代表者氏名 : 院長 木原 幹夫 印

統合関係病院名 : 山田記念病院

代表者氏名 : 院長 武田 哲二 印

留意事項

- (1) 本記載事項については、法的拘束力を有さないものとする。
- (2) 統合支援給付金を受給した事業にあたっては、令和 8 年度までに事業が実行されない場合については返還対象とする。